

- 1 日時 平成26年10月17日(金) 第5校時
- 2 学年 第5学年 21名
- 3 単元名 三次市に提言!! 誰もが、安心・安全に住める町、三和を作ろう!!
- 4 単元について

(1) 児童観

本学級の児童は昨年度、「1/2成人式をひらこう」の学習でウェビングしたことを交流したり、「情報収集」では、インタビューやアンケートなどに取り組んだりしている。「整理・分析」の場面では、焦点化させより深く考えられるようランキングや座標軸などに取り組んだ経験がある。本年度の1学期には、「課題設定」の場面で、ウェビングにより高齢者に対するイメージを広げたり、分類したりした。

5月に児童に行った主体性に関わるアンケートでは、「知らなかったことをすぐに調べようとする」や「時間をかけてやろうとする」の項目において約6割の児童が「あまり」「ぜんぜん」と書いており、好奇心があまり高くないことがわかった。また、「反対されると自分の意見をすぐに取り下げる」「友達といっしょにすることが多い」の項目も半数あり、自分への自信のなさや自己決定力に課題があると考えられる。しかし、1学期末のアンケートでは、好奇心を表す項目が6~7割へと上がった。自分なりの課題をもったことで学習への関心が高まったと考えられる。一方、自己決定力の項目については、数値に変わりがなく継続課題である。

本単元でテーマとする「福祉」についてのアンケートでは、「福祉」や「ボランティア」という言葉を「知っている」と答えた児童が、5名のみで、ほとんどの児童は既有知識がないことが分かった。

「福祉」という言葉を聞いたことがないか意識したことがないと考えられる。「知っている」と答えた児童の中でも、「福祉」については3名で、お年寄りを介護することとらえている。お年寄りと同居していたり、家族に福祉関係の仕事をする人がいたりする児童は福祉について関心が高い。尚、「三和町のよいところ、自慢できるところ」もアンケートをとったところ、ほとんどの児童が三和の自然のことや特産品のことを書いていた。だが少数ではあるが何も書けない児童がいた。どの子にも三和地域への愛着や誇りをもてるようにしていくことが必要であると考えられる。

以上のような児童の実態から、自ら課題を見付け、その課題を解決していく学習活動を展開することで、主体的に学習に取り組むことのできる児童を育成することをねらいとして、本単元を設定した。

(2) 単元観

本単元では、三和町の高齢者や福祉施設への聞き取りや喜楽園訪問という活動を通して、三和町の福祉の現状を知り、誰もが安心・安全に住める町にするための努力や工夫、自分たちができることを考え、三次市に提言という形で行動にうつしていく。三和町では、総合福祉センターが中核となり、ふれあいサロンや福祉祭り等、様々な活動を企画実施されている。三和小学校にも5年生だけでなく、低学年と老人会の方たちとの紙相撲大会を毎年行い交流する等、本校の福祉教育へ積極的に協力をしてくださっている。また、三和町には喜楽園という大きな老人養護施設がある。児童の中には、家族や親戚がその職員である子、家族が利用している子があり、訪ねた経験がある子もいる。三和町には他にも2つの福祉施設がある。それらを利用されている高齢者やそこで働く方々の思いや考え方・生き方にふれることで、相手を思いやる心、様々な努力や工夫等、生きていく上で大切なことをたくさ

ん学ぶことができると考える。そして、そこから自分のできることを考えさせていくことで大変価値ある単元になると考える。

(3) 指導観

研究内容に沿って、次の2点に焦点を当て指導していく。

①「めあて」（「具体的で明確なめあて」「見通しが立てられるめあて」「意欲がもてるめあて」）を成立させるために

(ア) 事前に、「福祉，ボランティアを知っているかどうか」「どんなことを知っているか」「50年後の三和町はどんな町だったらいいか」アンケート調査を行い，学習材（人，もの，こと）に対する児童の既有知識や興味関心等を把握する。

(イ) お年寄りにとって住みやすい三和町にするためにどのような工夫がされているのか関心を高めるために，三和町の昔の年代別人口と最近の年代別人口を比較させ，高齢者が最も多い現状に気付かせる等，学習材との出会わせ方を工夫し，単元全体を通した課題意識や意欲がもてるようにする。

(ウ) 1時間1時間の授業で児童が何をすべきか理解し，見通しをもって活動できるように，具体的なめあてを設定する。そのために前時までの発言や記述内容，振り返りから児童の課題意識や思考，情報内容を把握しておく。

②「振り返り」を成立させるために

(ア) 学習の流れを視覚的に確認することができるような構造的な板書にする。

- ・めあてからまとめまでがきちんと明示された学習の流れがわかる板書となるように，時間配分を工夫する。

(イ) 児童の思考のプロセスや結果が残るようにする。

- ・児童の考えの比較や分類，関連付け，因果関係等の思考やポイントが分かりやすいように，矢印などの記号を適切に使用したり，ポイントではチョークの色を工夫したり，児童の大切なことばを吹きだしで書いたりする。

- ・聞き取り等で情報収集したことをKJ法や座標軸等の思考ツールを利用して，分類や関連付けしながら思考したことを黒板に貼るなどして「見える化」し，思考の流れを共有できるようにする。

(ウ) 一人ひとりが学習の足跡を確かめることができるよう個人ファイルやポートフォリオを活用する。

- ・調べたいことがすぐ確かめられるように，ワークシートや資料などを総合ファイルに綴じておき授業中手元に置いておく。

(エ) 振り返り表現する機会を効果的に設ける。

- ・めあてに沿った振り返りを交流することで，自分とは違う考えに気付くことができるようにする。

5 単元の目標と評価規準

①目標

(ア) 学習方法	○三和町の社会福祉について関心をもち，解決したい課題を見付け，適切な方法を選んで課題を解決する。
(イ) 自分自身	○活動を通して，自分のがんばりやよさに気付いたりこれからの自分の生き方や社会の一員として自分たちができることを考えたりする。

(ウ) 他者や社会とのかかわり	○友だちや地域の人々と一緒に行動するとともに、地域の人々の努力や工夫、友だちのよさに気付くことができる。
-----------------	--

②評価規準

評価の観点	評価規準	評価方法
(ア) 学習方法	<p>①三和町の社会福祉について関心をもち、疑問や不思議、人々の思いや願いから、自分なりの課題を設定しようとしている。</p> <p>②課題解決にむけて、必要な情報を選択・収集し、それらを比較したり関連付けたり因果関係を考えたりして、分析・整理している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 ・思考ツール
(イ) 自分自身	<p>①福祉施設の人とのふれあいや体験、まとめなどの活動を通して、自分のがんばりや反省点を考え、自分の成長やよさを自覚している。</p> <p>②誰もが住みやすい町にするための活動を通し、地域や家庭の中でどう生きていけばよいか考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 ・思考ツール ・発言内容
(ウ) 他者や社会とのかかわり	<p>①積極的に福祉施設や地域の方にかかわろうとしている。また、高齢者の方とともに活動するための配慮の仕方などを考えながらコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>②計画、準備、活動、振り返りという一連の学習の中で、友だちのよさに気付いたり、人の話や意見をしっかりと聞き、お互いの考えの違いを理解しようとしていたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・行動観察 ・発言内容

6 指導と評価の計画（全70時間）

第1次 「お年寄りと交流しようⅠ」（20時間）

- ・三和町の昔と今の年齢別人口を比較し、課題を設定しよう
- ・お年寄りのことを知ろう
- ・お年寄りにとって住みよいことや喜ばれることを調べよう
- ・喜樂園を訪問しよう
- ・喜樂園訪問を振り返ろう

第2次 「お年寄りと交流しようⅡ」 (30時間)

	学習内容	評価				
		評価の観点			評価規準	評価方法
		学	自	他		
お年寄り と交流し ようⅡ (30)	○もっとお年寄りが喜ばれることを調べる 情報の収集 ・ 喜楽園で働く人や福祉センターの人への聞き取り ・ 6年生への聞き取り	○			・ 喜楽園訪問(2回目)をよりよいものにするために、情報を収集しようとしている。【ア②】	ワークシート 行動観察
	○喜楽園訪問を成功させる計画を立てる 整理・分析 ・ 調べた内容の整理【本時7/30】 ・ 友だちやGTのアドバイスから訪問内容の改善 ○再度喜楽園を訪問する まとめ・表現 ・ 1回目の反省を活かした活動	○		○	・ 喜楽園訪問の成功にむけて、調べた情報を比較したり関連付けたりして、整理・分析し計画を立てようとしている。【ア②】 ・ 高齢者とともに活動するための配慮の仕方を積極的に知ろうとしている。【ウ①】 ・ 福祉施設の人や高齢者とのふれあいから、自分のがんばりや反省点を考え、自分の成長を自覚している。【イ①】	ワークシート 行動観察 発言内容 付箋紙
	○お年寄りと交流したことを振り返る 課題の更新 ・ さらに取り組みたいことの決定	○		○	・ 活動を振り返り、福祉施設の人の努力や工夫、友だちのよさに気付いている。【ウ②】 ・ 福祉施設の人や高齢者の思いや願いから、さらなる課題を設定しようとしている。【ア①】	ワークシート 発言内容

第3次 「お年寄りにやさしい町をつくろう」 (20時間)

- ・ お年寄りにとって生活しづらい場所を探そう(公共施設の調査・お年寄りへのアンケート)
- ・ 情報を整理・分析しよう
- ・ 三次市へ提言しよう

7 本時の展開

(1) 本時の目標

2回目の喜楽園訪問を成功させるために、調べた内容を整理し、2回目の計画を考える。【ア②】

(2) 観点別評価基準

喜楽園訪問の成功にむけて、調べた情報を整理・分析し、2回目の内容を考えようとしている。

【ア②】

(3) 準備物 付箋紙, 総合のファイル, マジック, 振り返りワークシート

(4) 学習の展開

学習活動	指導上の留意点 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-right: 10px;">めあて・まとめ</div> ◎手立て <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 10px;">期待する児童の姿</div>	評価規準 (評価方法)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 どんなことをすればいいか考えて付箋紙に書く。</p> <p>3 2回目に何をすればいいか発表し話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ことばの教育との関連 比較や関連付け、理由付けしながら相手に分かるように、自分の考えを述べる。</p> </div> <p>4 まとめる。</p>	<p>◎ 1回目の訪問の成果と課題を確認するために、1回目の振り返りなど具体的に掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>2回目の訪問で、もっと笑顔になってもらうためには、どのようなことをすればいいのだろう。</p> </div> <p>◎自分の考えをもつために、調べたことをすぐ見ることができるように総合ファイルを手元に置いておく。</p> <p>◎1回目のお年寄りとのふれあいでよかったことやうまくいかなかったことを想起しやすいように、写真などの準備をしておく。</p> <p>◎付箋紙には、次の話し合い活動が活発になるように理由を書く欄をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生に聞いたら、〇〇が喜ばれるそうだから。 ・肩もみはお年寄りがうれしそうなのでもう一度する。 ・ぬり絵をやりたいお年寄りがおられるのでしたい。 ・〇〇がいい。お年寄りもできそうなものを本で調べた。 </div> <p>◎書いた付箋紙を黒板に貼ることで一人ひとりの考えを全員が共有できるようにする。</p> <p>◎分からないことを質問したり、意見を言ったりしている児童を評価することで、考えの共有を図っていく。</p> <p>◎まとめで共通項を見付けやすいように板書を工夫する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬり絵をしたらいい。1回目のとき楽しみにされていたお年寄りがおられたのにコーナーを設けていなかったから。 ・6年生から〇〇〇〇がお勧めと聞きました。 </div> <p>◎話し合いを深めたり広げたり、再度吟味させたりするための発問を用意しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本当にできるかな。」 ・「本当にそうかなあ。」 ・「このあとどうしようか。」 ・「もし～だったらどうなるの。」 <p>◎児童が分類したことをもとに児童のことばでまとめる。</p> <p>◎話し合いが途中で終わることが考えられる。その場合、決まったことと決まってないことを整理し、次時で継続して話し合うこと</p>	<p>喜楽園訪問の成功にむけて、調べた情報を整理・分析し、2回目の内容を考えようとしている。(発言内容・カード)</p> <p>【ア②】</p>

<p>5 本時の振り返りをする。</p>	<p>を全員で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次の時間話し合うことを整理しよう。」 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かたもみ ・ぬり絵 ・手作りプレゼント <p>次の時間、続けて話し合うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌の発表 ・ゲーム </div> <p>◎本時のめあてに沿った振り返りを交流することで、自分とは違う考えに気付くことができるようにする。</p> <p>◎肯定的評価により次時への意欲を高める。</p>	
----------------------	--	--

(5) 板書計画

